



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場会社名 西川ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5161 URL <http://www.nishikawa-rbr.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 西川 正洋  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名) 福岡 美朝 (TEL) (082) 237-9371  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	39,830	20.8	3,652	101.8	4,500	97.7	3,076	13.0
22年3月期第3四半期	32,967	△21.8	1,809	44.8	2,276	26.6	2,722	320.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	157 16	157 11
22年3月期第3四半期	139 14	139 03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	66,327	39,353	59.1	2,003 49
22年3月期	64,318	37,511	58.1	1,909 87

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 39,220百万円 22年3月期 37,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7 00	—	10 00	17 00
23年3月期	—	10 00	—		
23年3月期(予想)				10 00	20 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,200	13.4	5,100	42.7	6,000	45.6	4,050	△0.5	206 88

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	19,995,387株	22年3月期	19,995,387株
23年3月期3Q	419,117株	22年3月期	419,763株
23年3月期3Q	19,575,668株	22年3月期3Q	19,565,710株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、アジア新興国の経済成長や各国政府による景気対策などにより世界経済は緩やかな回復を見せているものの、欧米諸国における先行き不透明感の強まりや急激な為替変動など厳しい状況が続いております。また、国内においては、海外経済の回復や景気対策の効果に支えられ一部で景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢などは依然として厳しく、個人消費の低迷や急激な円高などによりデフレ状況は継続し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

自動車部品業界におきましては、世界的な需要減退の影響により大きく落ち込んだ前年同期を大幅に上回って推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は398億30百万円（前年同期比20.8%増）となりました。利益につきましては、西川ゴムグループ総コスト低減活動を推し進めた結果、営業利益は36億52百万円（前年同期比101.8%増）、経常利益は45億円（前年同期比97.7%増）、四半期純利益は30億76百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (自動車用部品)

世界的な自動車生産台数の増加が大きく影響し、売上高は367億54百万円となり、営業利益は33億13百万円となりました。

#### (一般産業資材)

住宅着工戸数および土木事業などの増加により、一般産業資材の大きな需要増加となった結果、売上高は30億75百万円となり、営業利益は3億39百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億8百万円増加し663億27百万円となりました。主な増加は現金及び預金などであり、主な減少は機械装置及び運搬具などであり、負債は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加し269億74百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金および資産除去債務などであり、主な減少は短期借入金および賞与引当金などであり、また、純資産は前連結会計年度末に比べ18億41百万円増加し393億53百万円となりました。主な増加は四半期純利益の計上などによる利益剰余金などであり、主な減少はその他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定などであり、また、

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最新の経済状況を踏まえ修正しております。詳細は、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ12百万円、税金等調整前四半期純利益は2億65百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は3億67百万円であります。

#### ②表示方法等の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（内閣府令第5号 平成21年3月24日）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,440	15,450
受取手形及び売掛金	※2 12,277	12,516
製品	1,526	1,396
仕掛品	827	943
原材料及び貯蔵品	1,009	783
繰延税金資産	359	686
その他	966	715
貸倒引当金	△3	△7
流動資産合計	35,402	32,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,883	6,096
機械装置及び運搬具（純額）	7,132	8,035
その他（純額）	5,385	5,482
有形固定資産合計	※1 18,401	※1 19,615
無形固定資産	680	759
投資その他の資産		
投資有価証券	10,586	10,385
繰延税金資産	612	476
その他	648	603
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	11,842	11,459
固定資産合計	30,924	31,833
資産合計	66,327	64,318

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 6,779	6,609
短期借入金	5,316	5,544
未払法人税等	309	146
賞与引当金	430	834
製品保証引当金	48	71
その他	2,782	2,580
流動負債合計	15,667	15,787
固定負債		
長期借入金	8,020	8,065
退職給付引当金	2,130	2,233
役員退職慰労引当金	405	360
負ののれん	64	81
その他	686	279
固定負債合計	11,306	11,019
負債合計	26,974	26,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,660	3,660
利益剰余金	34,640	31,955
自己株式	△425	△427
株主資本合計	41,239	38,552
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	914	1,120
為替換算調整勘定	△2,933	△2,286
評価・換算差額等合計	△2,018	△1,165
新株予約権	5	10
少数株主持分	126	113
純資産合計	39,353	37,511
負債純資産合計	66,327	64,318

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	32,967	39,830
売上原価	26,681	31,308
売上総利益	6,285	8,521
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,847	2,062
給料及び賞与	913	970
その他	1,714	1,835
販売費及び一般管理費合計	4,475	4,869
営業利益	1,809	3,652
営業外収益		
受取利息	16	21
受取配当金	76	85
負ののれん償却額	12	17
持分法による投資利益	422	912
助成金収入	187	13
その他	115	107
営業外収益合計	832	1,158
営業外費用		
支払利息	151	142
固定資産除却損	161	95
その他	53	72
営業外費用合計	365	310
経常利益	2,276	4,500
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	4
製品保証引当金戻入額	100	—
特別利益合計	100	4
特別損失		
投資有価証券評価損	—	36
固定資産除却損	8	—
貸倒引当金繰入額	—	0
工場閉鎖損失	9	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	252
特別損失合計	17	289
税金等調整前四半期純利益	2,359	4,214
法人税、住民税及び事業税	78	721
法人税等還付税額	△111	—
法人税等調整額	△333	403
法人税等合計	△366	1,125
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,089
少数株主利益	3	12
四半期純利益	2,722	3,076



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,359	4,214
減価償却費	3,170	2,714
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△118	△102
受取利息及び受取配当金	△93	△107
支払利息	151	142
為替差損益 (△は益)	23	12
持分法による投資損益 (△は益)	△422	△912
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	36
固定資産除却損	169	95
固定資産売却損益 (△は益)	1	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,728	239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△93	△239
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,383	182
その他	32	△763
小計	3,837	5,761
利息及び配当金の受取額	93	304
利息の支払額	△139	△135
法人税等の支払額	△171	△560
法人税等の還付額	491	67
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,111	5,436
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△130	△2,224
定期預金の払戻による収入	12	10
有形固定資産の取得による支出	△1,795	△1,289
有形固定資産の売却による収入	29	4
無形固定資産の取得による支出	△39	△58
投資有価証券の取得による支出	△15	△118
貸付けによる支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	13	9
その他	5	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,921	△3,656

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,500	4,300
短期借入金の返済による支出	△4,545	△4,645
長期借入れによる収入	1,000	100
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△3
少数株主からの子会社株式の取得による支出	△65	—
配当金の支払額	△254	△391
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	633	△639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	△363
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,724	776
現金及び現金同等物の期首残高	9,856	9,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,580	10,649

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

区分	自動車用部品 (百万円)	一般産業資材 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	30,438	2,528	32,967	—	32,967
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	30,438	2,528	32,967	(—)	32,967
営業利益	1,683	125	1,809	(—)	1,809

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

区分	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	27,558	5,072	335	32,967	—	32,967
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,271	52	5	1,329	(1,329)	—
計	28,830	5,125	341	34,297	(1,329)	32,967
営業利益又は営業損失(△)	1,069	742	△58	1,753	55	1,809

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	5,000	1,292	6,293
II 連結売上高(百万円)			32,967
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.2	3.9	19.1

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は営業本部が取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車用部品」および「一般産業資材」の2つを報告セグメントとしております。

「自動車用部品」は、ゴム・樹脂シール製品(ドアシール、ドリップシール、トランクシール、ウェザーストリップガラスラン、ガスケット)および内外装製品(ドアオープニングトリム、外装モール、ウィンドモール、ドアホールシール)等を生産・販売しております。

「一般産業資材」は、住宅用外壁目地材、化粧用パフ、マンホール用ジョイントシール材、医療用ゴム製品等を生産・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	自動車用部品	一般産業資材	計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	36,754	3,075	39,830	—	39,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	36,754	3,075	39,830	(—)	39,830
セグメント利益(注)	3,313	339	3,652	(—)	3,652

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。